



2018 年度公務員分野

エクステンションセンター特別奨励生

募集要項

<Ⅱ期>

立命館大学 エクステンションセンター

衣笠キャンパス (研心館 1階)
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
TEL 075-465-8172

びわこ・くさつキャンパス (プリズムハウス 2階)
〒525-8577 草津市野路東 1-1-1
TEL 077-561-3942

大阪いばらきキャンパス (A棟 1階)
〒567-8570 茨木市岩倉町 2-150
TEL 072-665-2120

2018年度公務員分野 エクステンションセンター特別奨励生募集要項

エクステンションセンター特別奨励生制度は、難関資格試験に積極的に挑戦する学生を励まし支援する制度で、「立命館大学エクステンションセンター特別奨励生規程」に則り実施しています。よって、規程に基づき、学習状況を踏まえた厳正な審査のもと、国家公務員総合職試験・外務省専門職試験合格を期待できる学生を特別奨励生として採用します。「2018年度公務員分野 エクステンションセンター特別奨励生」の募集・選抜方法については、下記の通りです。

記

1. 出願資格

下記4点をすべて満たしていること。

- ①立命館大学に在学する学部生または大学院生
- ②2018年度エクステンションセンター講座（「国家公務員総合職合格コース」、「外務省専門職講座」）の受講生または受講意志を有する者で、かつ国家公務員総合職、外務省専門職を志望する者
- ③2019年度実施の国家公務員総合職試験、外務省専門職試験を必ず受験し、受験番号等試験に関する個人情報の申告に同意する者
- ④2017年度後期終了時点での累積GPAが2.5以上の者(成績評価Nの科目および要卒単位外科目は含まない)
※他大学（高専含む）から本学に進学をしており、今回の出願時に必要なGPAが他大学に在籍している期間のものだった場合には、出身学校での成績が分かるものを入手の上、出願前にエクステンションセンター窓口まで相談に来ること

2. 欠格事項

次のいずれかに該当する者は上記出願資格を満たす者であっても特別奨励生となる資格を有しない。

- ①2018年度後期を休学する者
- ②2018年度後期時点で留学中の者（留学予定の者を含む）。但し、学籍異動が発生する学内の留学プログラムで留学をしており、且つ特別奨励生の筆記試験日までにプログラムを終えて帰国をしている場合には、出願前に一度エクステンションセンターに相談に来ること。
- ③立命館大学学生懲戒規程による懲戒を現に受けている者
- ④他の講座（公認会計士講座）の特別奨励生
- ⑤過去に特別奨励生として採用された講座を再度受験する者

3. 特別奨励生の義務

特別奨励生の決定を受けた者は以下を誓約することを義務とします。誓約に反する場合は「立命館大学エクステンションセンター特別奨励生規程」に則り、特別奨励生の採用を取消し、減免した受講料の返還を求めます。

- ①2019年度国家総合職試験または外務省専門職試験の1次試験を受験し、1次試験に合格した場合は2次試験も受験すること（特別奨励生本人の責めに帰さない事由により、受験できなかった場合を除く）。受験の事実を証明する書証を提出すること。
※本人の責めに帰さない事由
病気、忌引き、災害等により受験できなかった場合
※本人の責めに帰す事由（受講料の返還を求めます）
他の受験区分や民間企業採用試験と日程が重なった為に該当試験を受験しなかった場合など
- ②受験した難関試験の可否および自己採点の結果を報告すること。

4. 特別奨励生が受ける補助

2018年度「国家総合職合格コース」または「外務省専門職講座」における該当科目（下記表）受講料相当額を減免。

※出願時に選択した「区分」は原則として変更できませんので慎重に選択してください。

区分			Ⅱ期要学生該当科目
衣笠	法文系	法律	文章理解、時事対策、論文対策、憲法応用講義、憲法記述対策、民法応用講義、民法記述対策、行政法、行政法応用講義、行政法応用演習、行政法記述対策、法律系択一演習、財政学、刑法、刑法応用講義、労働法、労働法応用講義、商法、商法応用講義、政策立案講義
		政治・国際	文章理解、時事対策、論文対策、憲法応用講義、憲法記述対策、民法応用講義、行政法、行政法応用講義、行政法応用演習、法律系択一演習、財政学、行政学、政治学記述対策(Web講義)、国際関係記述対策(Web講義)、総合職1次対策演習(憲法・民法)、政策立案講義
		人間科学	文章理解、時事教養、論文対策、政策立案講義
BKC	法文系	経済	数的処理演習、文章理解、一般知識演習、時事教養、論文対策、憲法演習、民法応用、民法演習、経済系総合職対策Ⅱ、財政学、財政学応用・経済政策、統計・計量経済学、経済史・経済事情、国際経済学、政策立案講義
		政治・国際	数的処理演習、文章理解、一般知識演習、時事教養、論文対策、憲法応用講義、憲法記述対策、民法応用講義、行政法、行政法応用講義、行政法応用演習、法律系択一演習、財政学、行政学、国際関係記述対策、政治学記述対策、政策立案講義
		人間科学	数的処理演習、文章理解、一般知識演習、時事対策、論文対策、政策立案講義
	技術系	土木	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、工学の基礎応用、土木応用、工学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策(土木)、政策立案講義
		建築	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、工学の基礎応用、建築応用、工学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策(建築)、政策立案講義
		機械	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、工学の基礎応用、機械応用、工学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策(機械)、政策立案講義
		電気・電子	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、工学の基礎応用、電気・電子応用、工学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策(電気・電子)、政策立案講義
		情報	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、工学の基礎応用、情報応用、工学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策(情報)、政策立案講義
		物理(機械)※	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、工学の基礎応用、機械応用、工学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策(機械)、政策立案講義
		物理(電気・電子)※	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、工学の基礎応用、電気・電子応用、工学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策(電気・電子)、政策立案講義
		化学(工学)	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、工学の基礎応用、化学応用(工学)、工学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策【化学(工学)】、政策立案講義
		化学(化学)	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、工学の基礎応用、化学応用(化学)、化学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策【化学(化学・生物・薬学)】、政策立案講義
		化学(生物)	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、工学の基礎応用、化学応用(生物)、化学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策【化学(化学・生物・薬学)】、政策立案講義
		化学(薬学)	自然科学、数的処理演習、一般知識国家総合職演習、文章理解、時事教養、論文対策、化学応用(薬学)、化学区分1upゼミ、国家総合職試験委員対策【化学(化学・生物・薬学)】、政策立案講義
OIC	法文系	法律	行政法、財政学、政治学、商法、刑法、労働法、憲法記述講義、民法・行政法記述講義、国家総合職対策民法、国家総合職対策行政法、国家総合職対策刑法(Web講義)、国家総合職対策商法(Web講義)、国家総合職対策労働法(Web講義)、国家総合職対策財政学、国家総合職対策経済政策(Web講義)、国家総合職対策数的処理、国家総合職対策一般知識、政策立案講義
		経済	財政学、政治学、経済系記述講義、国家総合職対策民法、国家総合職対策財政学、国家総合職対策経済政策(Web講義)、国家総合職対策国際経済(Web講義)、国家総合職対策経営学(Web講義)、国家総合職対策統計学・計量経済学(Web講義)、国家総合職対策数的処理、国家総合職対策一般知識、政策立案講義
		政治・国際	行政法、財政学、政治学、憲法記述講義、行政系記述講義、国家総合職対策民法、国家総合職対策行政法、国家総合職対策財政学、国家総合職対策経済政策(Web講義)、国家総合職対策数的処理、国家総合職対策一般知識、政策立案講義
		人間科学	国家総合職対策数的処理、国家総合職対策一般知識、政策立案講義
衣笠	外務省専門職		文章理解、時事対策、論文対策
BKC	外務省専門職		数的処理演習、文章理解、一般知識演習、時事教養、論文対策
OIC	外務省専門職		

※減免とは該当科目を全て無料で受講できることを指します

※物理(機械)(電気・電子)は、正課授業で物理を専攻している学生が、国家公務員総合職(工学区分)を目指すためのコースです。

※国家公務員総合職(技術系)の本試験を「工学」区分、「化学・生物・薬学」区分以外の区分で受験予定の方は、奨励生の申請区分を事前にエクステンションセンターで相談するようにしてください。

5. 採用予定数

30 名程度

6. 選考方法

選考試験の結果により行い、語学の加点を含めない点数が基準点（100 点換算で 50 点）以上の者について、語学の加点後の上位から採用します。筆記試験の結果が同点数の場合は累積 GPA の上位者から採用します。

【対象】国家公務員総合職志望者、外務省専門職志望者

【日時】2018 年 9 月 22 日（土）17:45～19:45（17:30 着席） ※ただし、試験時間 60 分の場合は 18:45 まで

【会場】〔衣笠〕興学館 201 〔BKC〕プリズムハウス P201 〔OIC〕C273

※ただし、受講する公務員講座が開講されるキャンパスの会場で受験すること

【内容】筆記試験：公務員試験に準ずる択一試験（120 分/30 問または 60 分/15 問）

区分	教養科目		専門科目		試験時間
法文系(人間科学) 外務省専門職	数的処理	15 問（必須解答）	なし	—	60 分
法文系(法律、政治・国際)	数的処理	15 問（必須解答）	憲法	15 問（必須解答）	120 分
法文系 (経済)	数的処理	15 問（必須解答）	経済理論	15 問（必須解答）	120 分
技術系 (土木、建築、機械、電気・ 電子、情報、物理(機械)、 物理(電気・電子)、 化学(工学))	数的処理	15 問（必須解答）	工学の基礎	15 問（必須解答）	120 分
技術系 (化学(化学)・化学(生 物)・化学(薬学))	数的処理	15 問（必須解答）	なし	—	60 分

※ 語学の加点について

2012 年 9 月以降に受験した以下のスコアを有する場合、試験の得点に加点を行います。加点希望者は特別奨励生申請時にスコアを証明する書類を提出してください。

加点	TOEFL iBT®テスト	TOEIC® L&R テスト	IELTS	英検
3 点	65 以上	600 以上	5.5 以上	—
5 点	80 以上	730 以上	6.5 以上	準 1 級以上

※TOEIC®および TOEFL®は Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。

※L&R は LISTENING AND READING の短縮形です。

※TOEFL ITP®テストおよび TOEIC® L&R テスト (IP) は、TOEFL iBT®テストおよび TOEIC® L&R テストと同等に扱います。

※「エクステンションセンター特別奨励生制度」願書提出を以って、試験申込にかえさせていただきます。

※ 試験成績や解答は公表・返却いたしません。

7. 出願について

(1) 出願書類

以下の全ての書類を各キャンパスのエクステンションセンター窓口にて提出して下さい。

- ① 2018 年度 公務員分野 エクステンションセンター特別奨励生願書兼学業・進路計画書(裏表 1 枚)
- ② 誓約書
- ③ 語学の得点を証明する書類（原本、加点希望者のみ）

※申請書類は必ず黒または青のボールペンで記入して下さい（消せるペンは不可。また誤字等は修正液を使わ

ず、二重線を引いた上から訂正印を押し書き直して下さい（鉛筆での記載、修正液・修正テープの使用、訂正印が無い場合は書類不備として扱います）。

※学習進路計画書の「国家総合職・外務省専門職を目指す理由」「今後の学習計画」の各項目については 150 字以上で記載して下さい（150 字に満たない場合は書類不備として扱います）。

※申請書類については返還いたしません。なお、語学の得点を証明する書類について、原本の返却を希望する者は、提出時に申し出てください。

※減免対象となる講座への申込は選考結果発表後に行ってください。

(2) 出願方法

窓口での本人による申込を原則とします。やむを得ない事情がある場合のみ、下記を徹底の上、代理人による申請を認めます。なお、郵送、FAX、メールでの受付は如何なる理由があろうとも認めません。

■代理人申請の場合

- ・必要書類に加えて、指定の委任状を提出してください
- ・代理人が窓口にて申請を行う際には、電話等で本人に確認を行います

(3) 受付窓口

キャリアセンター（衣笠、BKC、OIC）

(4) 出願期間

2018 年 9 月 5 日（水）～9 月 19 日（水）17:00（厳守） ※期限を過ぎた出願は一切認めません。

8. 選考結果発表：2018 年 10 月 3 日（水）15：00

キャリアセンター掲示板およびエクステンションセンターホームページにて発表し、申請者全員に決定通知を郵送します。

9. 受講申込・追加発表

本制度により特別奨励生として採用されたものは、結果発表日である 10 月 3 日（水）から 10 月 10 日（水）11:30 までに誓約書を提出した上で、「国家公務員総合職合格コース」または「外務省専門職講座」の受講申し込みを完了させることとする。特別奨励生として採用されたものが講座の受講を開始せず、奨学生の手続きを申し出た場合は、選考試験における次点のものを繰り上げて採用し、当該者には決定通知を郵送する。

10. 本制度に関する問い合わせ先：

衣笠：研心館 1 階 キャリアセンター

担当：吉田・古家

住所：〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

電話：075-465-8172

BKC：プリズムハウス 2 階 キャリアセンター

担当：中村・伊東・蒲生・山本

住所：〒525-8577 草津市野路東 1-1-1

電話：077-561-3942

OIC：A 棟 1 階 キャリアセンター

担当：小林・鈴木

住所：〒567-8570 茨木市岩倉町 2-150

電話：072-665-2120

以上